

## ■第4章■

# CSSの記述

テキストエディタを使ってCSSを記述する方法を解説します。  
出題範囲のCSSのプロパティを順番に学習します。

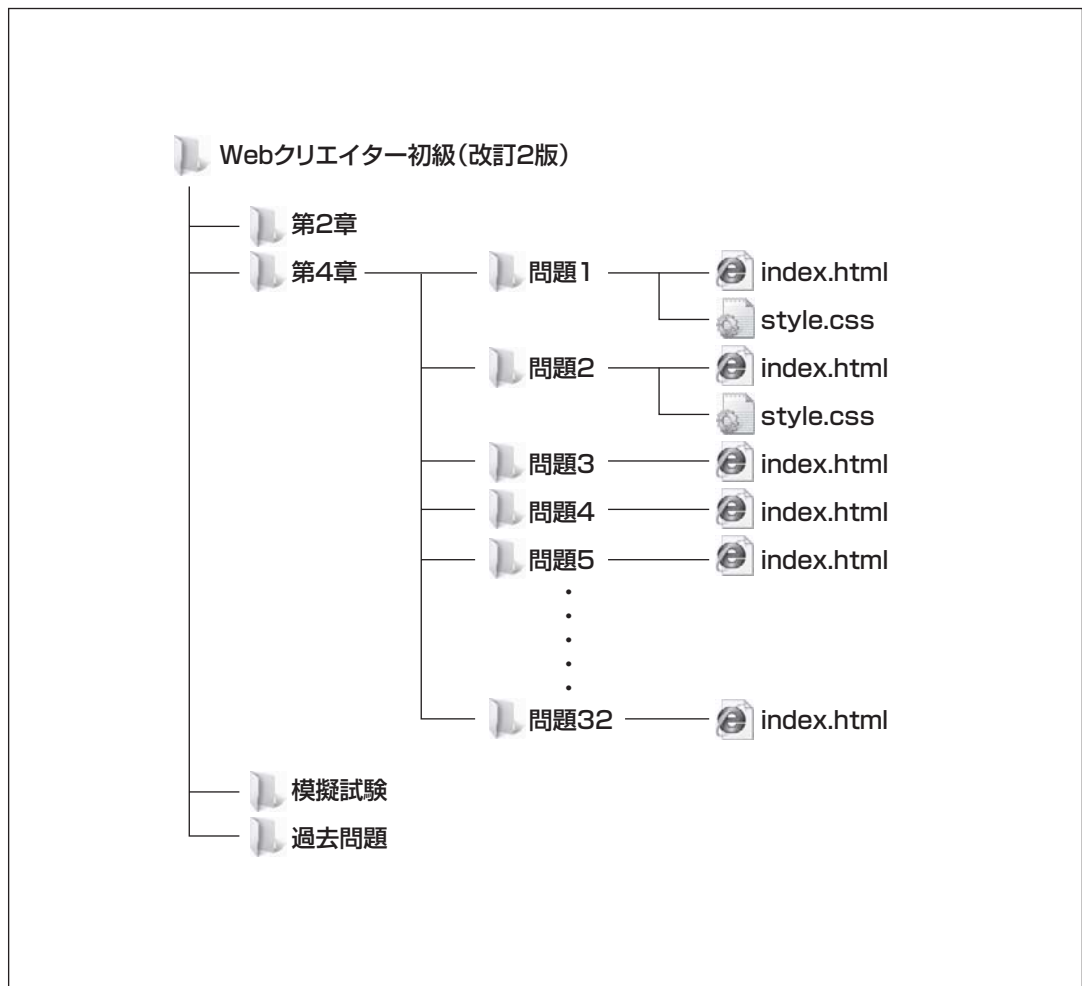
学習の前に	69
STEP1 スタイル関連のHTMLタグ	70
STEP2 テキスト	79
STEP3 フォント	83
STEP4 背景	88
STEP5 ボックス	94
STEP6 配置	103
STEP7 擬似クラス	107
STEP8 ID	108

## 1 データのセットアップ

この章で使用するファイルは、添付「データCD-ROM」に収録されています。学習の前にセットアップして、お使いのパソコンにファイルをコピーしておきましょう。

セットアップすると、指定した場所にフォルダ「Webクリエイター初級(改訂2版)」が作成されます。この章では、フォルダ「第4章」を使用します。

※セットアップ方法については、P.3を参照してください。









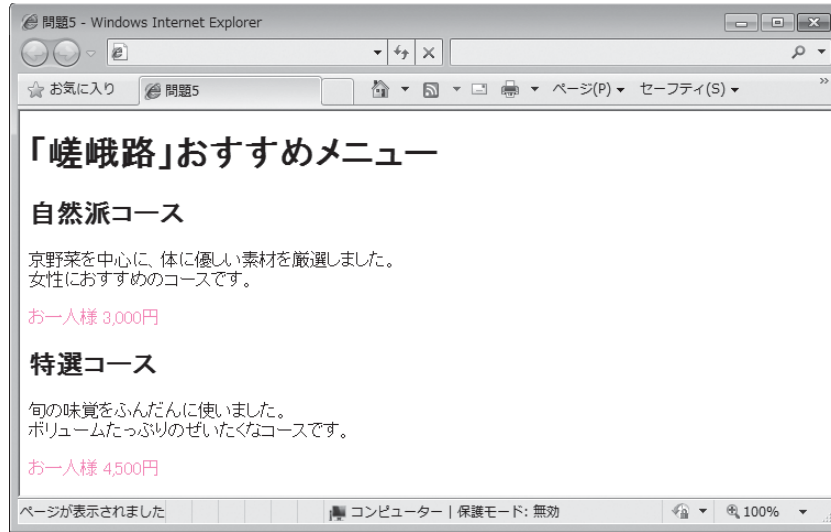


指定の要素にクラスのスタイルを適用します。  
 クラスはCSSファイルで定義するか、HTMLファイルの<head>~</head>間にstyle要素を使って定義します。

問題5

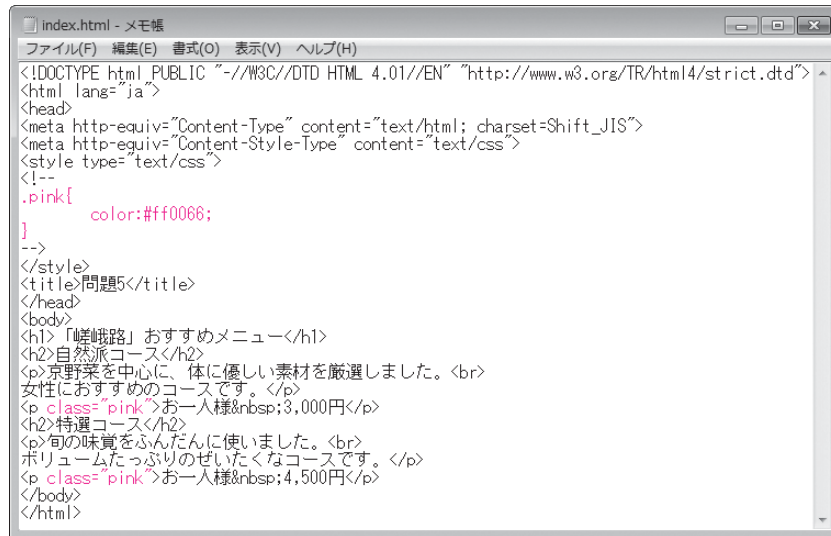
フォルダ「問題5」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、style要素にクラス「pink」を追加し、スタイル「color: #ff0066」を記述しなさい。  
 次に、段落「お一人様 3,000円」と「お一人様 4,500円」にクラス「pink」を設定しなさい。  
 ※「color: #ff0066」は、文字色をピンク色にするという意味です。

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。



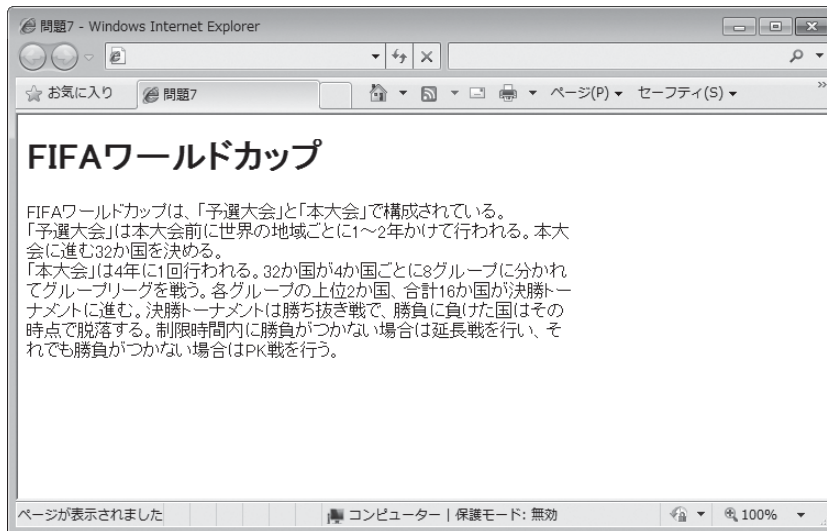
※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。



## 問題7

フォルダ「問題7」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、style要素にクラス「honbun」を追加し、スタイル「width:500px」を記述しなさい。次に、Webページの本文全体（見出し1「FIFAワールドカップ」から段落「・・・それでも勝負がつかない場合はPK戦を行う。」まで）にクラス「honbun」を設定しなさい。  
※「width:500px」は、幅を500ピクセルに設定するという意味です。

### <仕上がりイメージ>



## 解答

次のように記述します。

```
index.html - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<style type="text/css">
<!--
.honbun{
    width:500px;
}
-->
</style>
<title>問題7</title>
</head>
<body>
<div class="honbun">
<h1>FIFAワールドカップ</h1>
<p>FIFAワールドカップは、「予選大会」と「本大会」で構成されている。<br>
「予選大会」は本大会前に世界の地域ごとに1〜2年かけて行われる。本大会に進む32か国を決める。
<br>
「本大会」は4年に1回行われる。32か国が4か国ごとに8グループに分かれてグループリーグを戦う。
各グループの上位2か国、合計16か国が決勝トーナメントに進む。決勝トーナメントは勝ち抜き戦で
勝負に負けた国はその時点で脱落する。制限時間内に勝負がつかない場合は延長戦を行い、それでも
勝負がつかない場合はPK戦を行う。</p>
</div>
</body>
</html>
```

※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

概要

1

2

3

4

模擬試験

過去問題

付録

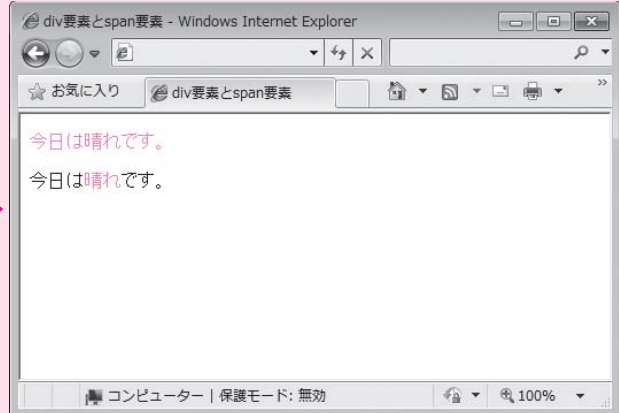
索引



## Point! div要素とspan要素

特定の範囲にスタイルを適用するには、div要素またはspan要素で範囲を区切って、クラスを使ってスタイルを適用します。div要素は区切った範囲がブロックレベル要素になり、span要素は区切った範囲がインライン要素になります。

```
index.html - メモ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=utf-8">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<style type="text/css">
<!--
.pink{
    color:#ff0066;
}
-->
</style>
<title>div要素とspan要素</title>
</head>
<body>
<div class="pink"><p>今日は晴れです。</p></div>
<p>今日は<span class="pink">晴れ</span>です。</p>
</body>
</html>
```



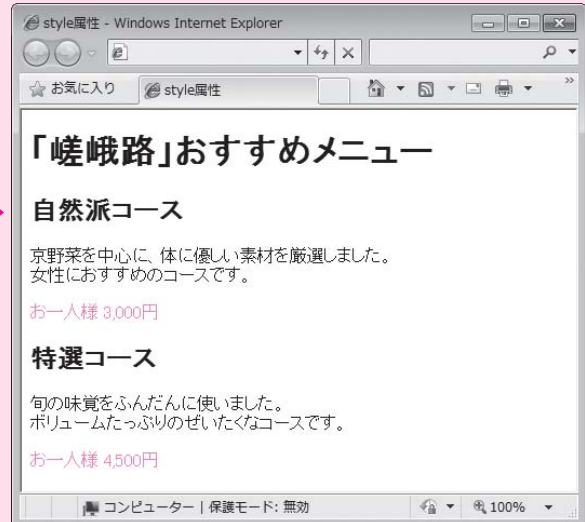
## Point! style属性

`<要素名 style="プロパティ:値"> </要素名>` 要素にスタイルを適用する

指定の要素にスタイルを適用します。style属性は、開始タグ内に属性として記述します。

[{} ]を使わず、「style="プロパティ:値"」のように記述します。

```
index.html - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<title>style属性</title>
</head>
<body>
<h1>「嵯峨路」おすすめメニュー</h1>
<h2>自然派コース</h2>
<p>京野菜を中心に、体に優しい素材を厳選しました。<br>女性におすすめのコースです。</p>
<p style="color:#ff0066">お一人様&nbsp;3,000円</p>
<h2>特選コース</h2>
<p>旬の味覚をふんだんに使いました。<br>ボリュームたっぷりのぜいたくなコースです。</p>
<p style="color:#ff0066">お一人様&nbsp;4,500円</p>
</body>
</html>
```



## Point! style属性の使用上の注意

style属性を使ってCSSを記述すると、HTMLファイルに文書構造の記述と見栄えの記述が混在し、文書構造と見栄えの記述を分離するというHTML4.01の本来の目的から外れてしまいます。style属性を使ってCSSを記述する方法は、適切とはいえません。特定の要素にスタイルを適用する場合は、クラスを使うようにしましょう。

概要

1

2

3

4

模擬試験

過去問題

付録

索引

**color:値** 文字色を指定する

文字列の色を指定します。値には、「色コード」または「色名」を指定します。

**Point!** 色の指定

HTMLでは、「色コード(カラーコード)」または「色名(カラーネーム)」を使って色を指定します。

## ●色コード(16進数)

【例】文字色を赤色にする

`color:#ff0000`

「#(シャープ)」に続けて、赤(R)、緑(G)、青(B)の各色の分量を「00」から「ff」の2桁ずつで指定します。色の強弱は「0123456789abcdef」の16進数で表し、「00」が最も弱く、「ff」が最も強くなります。各色を「00」「33」「66」「99」「cc」「ff」のいずれかで指定すると、「Webセーフカラー」になります。

#	0	0	0	0	0	0
	↓	↓	↓			
	赤	緑	青			

## ●色コード(10進数)

【例】文字色を赤色にする

`color:rgb(255,0,0)`

赤(R)、緑(G)、青(B)の各色の分量を「0」から「255」までの256段階から指定します。色の強弱は「0」が最も弱く、「255」が最も強くなります。各色を「0」「51」「102」「153」「204」「255」のいずれかで指定すると、「Webセーフカラー」になります。

## ●色名

【例】文字色を赤色にする

`color:red`

「red」「blue」など色に付けられている名前指定します。

色名	色	色名	色
black	黒色	blue	青色
silver	銀色	fuchsia	ピンク色
gray	灰色	maroon	茶色
white	白色	olive	オリーブ色
red	赤色	green	緑色
yellow	黄色	teal	青緑色
lime	黄緑色	navy	紺色
aqua	水色	purple	紫色

**Point!** Webセーフカラー

「Webセーフカラー」とは、OSやディスプレイの表示色数に関係なく、どんな環境でも指定どおりに見える色のことです。Webページを作成するときは、できるだけこのWebセーフカラーを使う方がよいとされています。

## 問題 9

フォルダ「問題9」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、以下の指示に従いなさい。

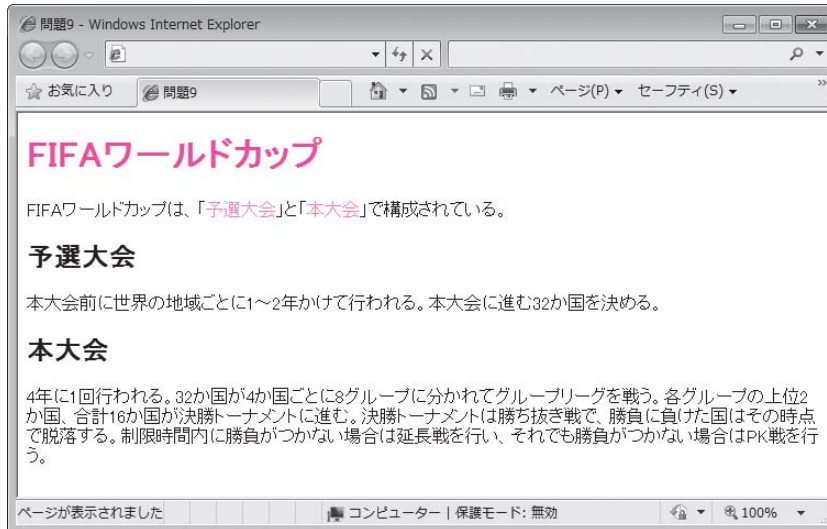
(1) style要素に「h1」を追加し、以下の設定を記述しなさい。

文字色	#003399(紺色)
-----	-------------

(2) style要素にクラス「red」を追加し、以下の設定を記述しなさい。

文字色	#ff0000(赤色)
-----	-------------

<仕上がりイメージ>



## 解答

次のように記述します。

```

index.html - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<style type="text/css">
<!--
h1{
    color:#003399;
}
.red{
    color:#ff0000;
}
-->
</style>
<title>問題9</title>
</head>
<body>
<h1>FIFAワールドカップ</h1>
<p>FIFAワールドカップは、「<span class="red">予選大会</span>」と「<span class="red">本大会</span>」で構成されている。</p>
<h2>予選大会</h2>
<p>本大会前に世界の地域ごとに1~2年かけて行われる。本大会に進む32か国を決める。</p>
<h2>本大会</h2>
<p>4年に1回行われる。32か国が4か国ごとに8グループに分かれてグループリーグを戦う。各グループの上位2か国、合計16か国が決勝トーナメントに進む。決勝トーナメントは勝ち抜き戦で、勝負に負けた国はその時点で脱落する。制限時間内に勝負がつかない場合は延長戦を行い、それでも勝負がつかない場合はPK戦を行う。</p>
</body>
</html>

```

※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

概要

1

2

3

4

模擬試験

過去問題

付録

索引

**text-align:値** 水平方向位置を指定する

文字列やイメージの水平方向位置を指定します。  
text-alignプロパティは、ブロックレベル要素に対して指定できます。

値	説明
left	左揃えにします。
center	中央揃えにします。
right	右揃えにします。
justify	両端揃えにします。

問題 10

フォルダ「問題10」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、以下の指示に従いなさい。

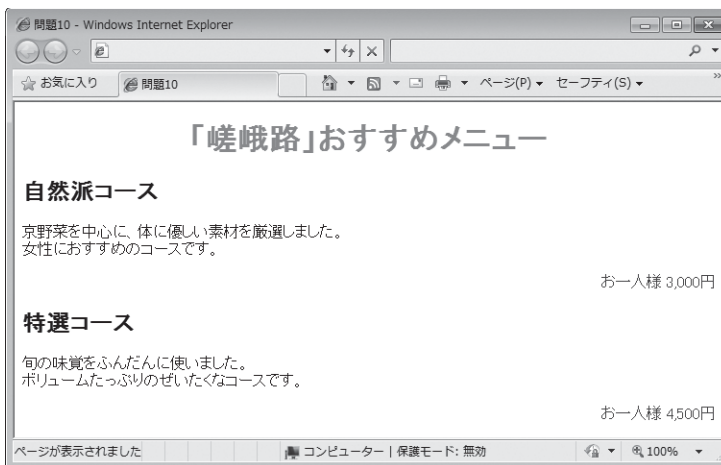
(1) style要素の「h1」に、以下の設定を追加しなさい。

水平方向位置	中央
--------	----

(2) style要素のクラス「price」に、以下の設定を追加しなさい。

水平方向位置	右
--------	---

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```

index.html - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<style type="text/css">
<!--
h1{
    color:#0099ff;
    text-align:center;
}
.price{
    color:#003399;
    text-align:right;
}
-->
</style>
<title>問題10</title>
</head>
<body>
<h1>「嵯峨路」おすすめメニュー</h1>

```

※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

**Point!** 両端揃え

通常、英単語は行内に入り切らないとき、次の行に送られ、行の右端は空白になります。text-alignプロパティを使って「justify(両端揃え)」を指定すると、行内が均等に割り付けられて、行の右端は空白になりません。

**text-decoration:値** 文字列の装飾を指定する

文字列に下線や取り消し線などを付けるかどうかを指定します。

値	説明
none	文字列を装飾しません。 ※リンクを設定した文字列には自動的に下線が付きませんが、「none」を指定すると下線が付きません。
underline	文字列に下線を付けます。
overline	文字列に上線を付けます。
line-through	文字列に取り消し線を付けます。
blink	文字列を点滅させます。 ※Internet Explorer未対応です。

問題 11

フォルダ「問題11」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、以下の指示に従いなさい。

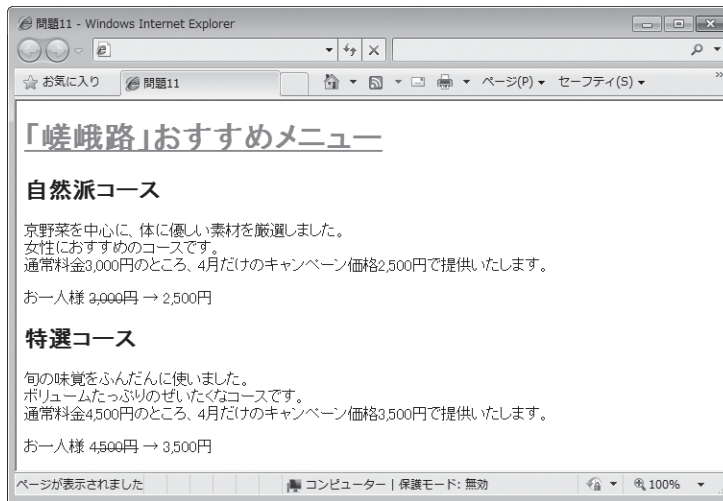
(1) style要素の「h1」に、以下の設定を追加しなさい。

文字装飾	下線
------	----

(2) style要素にクラス「teika」を追加し、以下の設定を記述しなさい。

文字装飾	取り消し線
------	-------

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。



※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

**Point!** 下線や点滅の使用上の注意

下線が付いている文字列は、リンクが設定されていると勘違いされる恐れがあります。リンク以外の場所に下線を付けるのは、適切ではありません。また、点滅する文字列は情報を把握しにくく、視覚に障がいがあるユーザーには負荷になることがあります。点滅する文字列は使わない方がよいでしょう。